

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第14週（令和8年3月30日～令和8年4月5日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

- ・ 麻しんの報告が2件ありました。麻しんは、麻しんウイルスによる感染症で、極めて感染力が強く、空気感染、飛まつ感染、接触感染により感染拡大します。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、眼の充血等の症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に電話で相談し、医療機関の指示に従って速やかに受診してください。受診の際は、周囲への感染拡大を防ぐために、必ずマスクを着用し、公共交通機関の利用は控えてください。麻しんは、手洗い、マスクのみでは予防できず、ワクチン接種が最も有効な予防法です。対象年齢の方は早めに定期予防接種を受けましょう。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	12	205	233	3,229
腸管出血性大腸菌感染症	4	11	43	389
レジオネラ症	2	16	14	406
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	22	12	237
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	26	25	394
後天性免疫不全症候群	1	16	17	212
ジアルジア症	1	1	0	7
侵襲性肺炎球菌感染症	3	39	49	812
梅毒	9	167	157	2,549
百日咳	4	92	77	2,106
麻しん	2	3	30	197

## ■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報

■ : 注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	34	0.28	1.26	3,629	0.96
インフルエンザ	363	2.98	0.42	24,536	6.46
急性呼吸器感染症	5,192	42.56	0.84	192,531	50.87
RSウイルス感染症	56	0.80	0.89	1,143	0.50
咽頭結膜熱	41	0.59	0.98	508	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	354	5.06	0.81	5,828	2.54
感染性胃腸炎	389	5.56	0.81	12,730	5.54
水痘	61	0.87	2.18	724	0.32
手足口病	17	0.24	1.00	133	0.06
伝染性紅斑	3	0.04	1.50	193	0.08
突発性発しん	26	0.37	1.37	487	0.21
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	33	0.01
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	73	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	12	0.02
流行性角結膜炎	22	0.85	2.44	232	0.34
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	12	0.02
マイコプラズマ肺炎	1	0.07	0.50	91	0.19
クラミジア肺炎	0	0.00	-	5	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	44	0.09